

SONY®



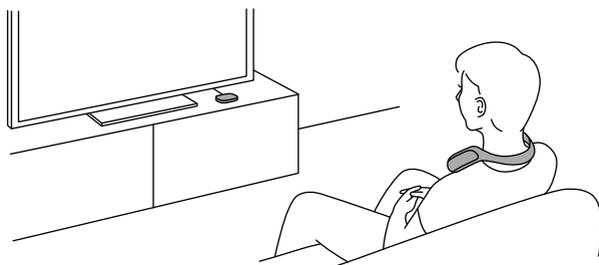
取扱説明書

ウェアラブルネックスピーカー SRS-WS1

目次

| | |
|---------------------|------------|
| 本機でできること | 3 |
| 付属品を確認する | 3 |
| 準備する | 4 |
| 送信機を設置する | 4 |
| スピーカーを充電する | 5 |
| テレビの音を聞く | 6 |
| 設定を変更する | 8 |
| 振動を調節する | 8 |
| 操作音を消す | 8 |
| その他の使いかた | 9 |
| 音声ケーブルで本機を使う | 9 |
| 専用オーディオケーブルを使って聞く | 10 |
| もう1台スピーカーを使う／ペアリング | 10 |
| 困ったときは | 11 |
| 困ったときにすること | 11 |
| 本機について | 14 |
| 各部の名称 | 14 |
| 主な仕様 | 15 |
| お手入れ方法 | 15 |
| 保証書とアフターサービス | 裏表紙 |

本機でできること



送信機を付属の光デジタルケーブルでテレビとつなぐことにより、簡単に使い始めることができます。

スピーカーを肩に乗せるだけで、臨場感のある音と迫力のある振動を楽しむことができます。映画やゲーム、ミュージックビデオをよりリアルに体感することができます。

付属品を確認する

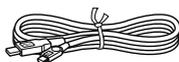
万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

()内の数字は個数です。

スピーカー(1)



マイクロUSBケーブル(2)



送信機(1)



光デジタルケーブル(1)



充電台(1)



音声ケーブル(1)



ACアダプター(2)



専用オーディオケーブル(1)



取扱説明書・保証書(本書)(1)

取扱説明書「安全のために」(1)

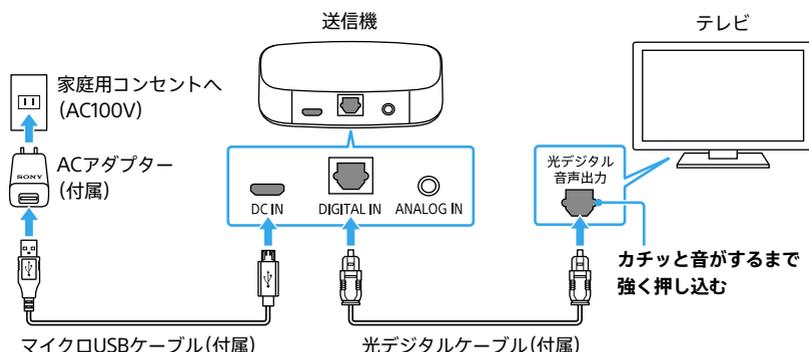
準備する

送信機を設置する

1 送信機をテレビとコンセントに接続する

送信機とACアダプターをマイクロUSBケーブルで接続し、ACアダプターをコンセントに差し込みます。

お使いのテレビに光デジタル出力端子がついている場合、光デジタルケーブルで送信機とテレビを接続します。



2 テレビのデジタル音声出力をPCMに設定する

光デジタル入力信号は48kHzのリニアPCMにのみ対応しています。テレビのデジタル音声出力がPCM以外に設定されている場合、正しく音が出力されないことがあります。あらかじめ設定をPCMに変更してください。

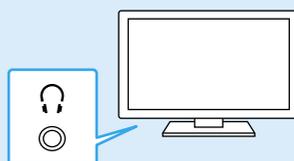
詳しくはテレビの取扱説明書をご確認ください。

例：ソニー製のテレビをお使いの場合（機種によって実際とは異なる場合があります。）

[設定] - [音質・音声設定] - [デジタル音声出力設定]または[光音声出力設定]を[PCM]に設定します。

お使いのテレビに光デジタル端子がない場合

音声ケーブルで送信機とテレビを接続します。「音声ケーブルで本機を使う」(9ページ)をご確認ください。



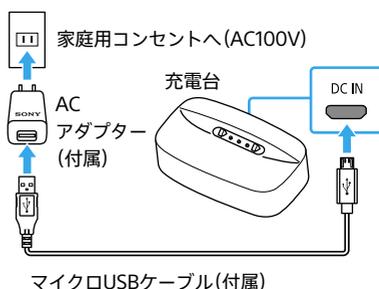
スピーカーを充電する

最初に使うときは、必ず充電してください

充電をしないと本体の電源が入らないことがあります。

1 充電台をコンセントに接続する

充電台とACアダプターをマイクロUSBケーブルで接続し、ACアダプターをコンセントに差し込みます。



2 充電台にスピーカーを置く

充電中は充電台のランプがオレンジ色に点灯し、スピーカーの電源ランプがゆっくりと点滅します。充電が終わると、電源ランプと充電台のランプが消灯します。充電中にスピーカーは使用できません。

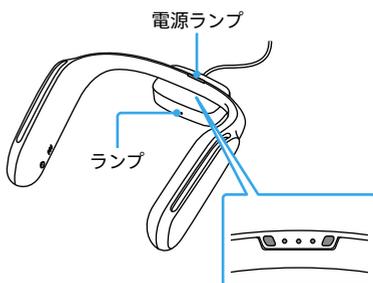
電源ランプの色と電池残量の目安

スピーカーの電源ランプの色は、電池残量に応じて変化します。

緑色：約4時間以上

黄色：約2時間～4時間

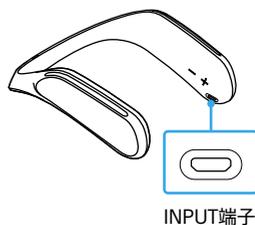
赤色：約2時間以下



スピーカーの充電端子を充電台の充電端子に合わせるようにしてスピーカーを置きます。

ヒント

スピーカーのINPUT端子から充電することもできます。スピーカーとACアダプターをマイクロUSBケーブルでつなぎ、ACアダプターをコンセントに差し込みます。充電中にスピーカーは使用できません。

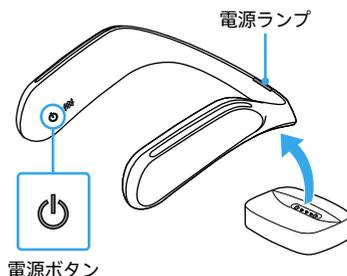


テレビの音を聞く

1 スピーカーの電源を入れる

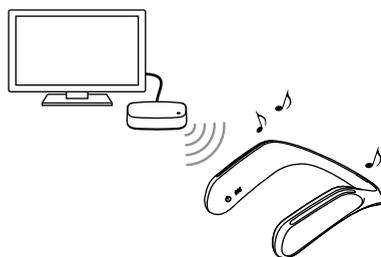
スピーカーを充電台から外し、電源ボタンを押します。電源が入ると、電源ランプが緑色に点灯します。

電源ランプは2～3秒後に電池残量を示す色(5ページ)の点灯に変わります。



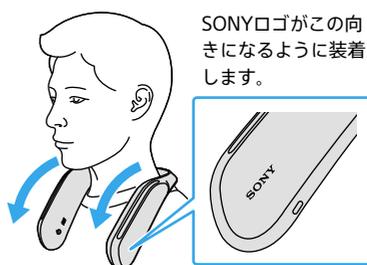
2 テレビの電源を入れる

スピーカーから音と振動が伝わります。



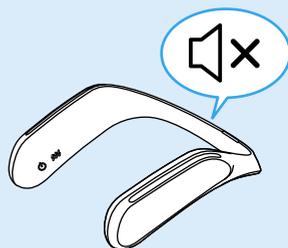
3 スピーカーを正しく装着する

向きに注意しながら、スピーカーを肩からかけます。振動が首の側面に直接伝わらないように使用してください。



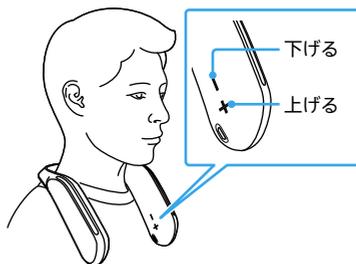
スピーカーから音が出ないときは

「困ったときのこと」(11ページ)をご確認ください。



4 + / - ボタンで音量を調整する

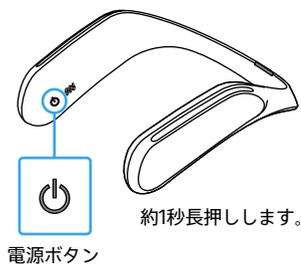
- + : 音量を上げる
- : 音量を下げる



5 使い終わったら電源を切る

電源ボタンを長押し(約1秒)すると電源が切れます。

またテレビの電源を切ったあと、約15分経つとスピーカーの電源が自動的に切れます(オートシャットOFF)。



設定を変更する

振動を調節する

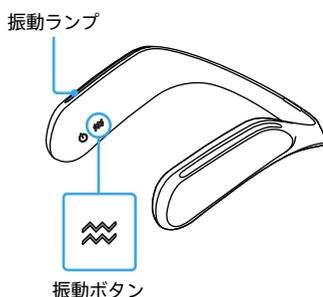
1 振動ボタンを押す

振動ボタンを押すたびに振動の強さが変わり、点灯する振動ランプの数が変わります。

振動ランプの表示と振動の強さ

消灯 : 弱
↓
1つ点灯 : 中
↓
2つ点灯 : 強

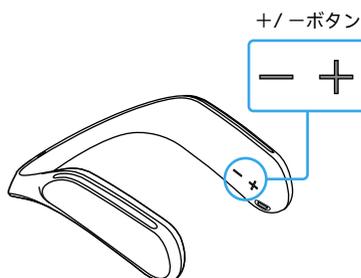
振動の強さを変えると音質も変わります。



操作音を消す

1 +ボタンと-ボタンを同時に長押しする

設定が変わると音が鳴ります。
操作音を出す場合は、もう一度+ボタンと-ボタンを同時に長押しします。



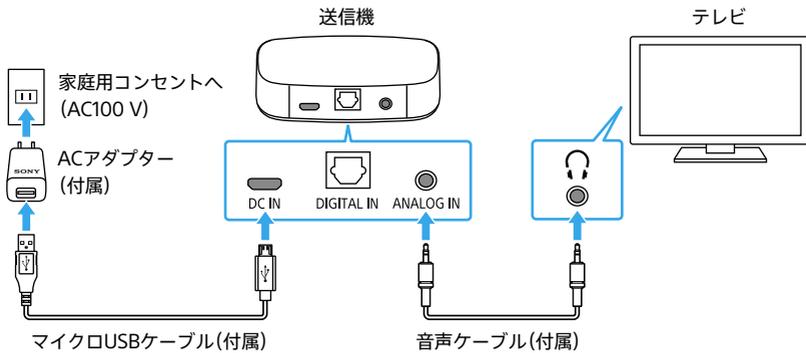
同時に約2秒長押しします。

その他の使いかた

音声ケーブルで本機を使う

お使いのテレビに光デジタル端子がない場合や、すでに別の光デジタルケーブル対応機器をお使いの場合は、音声ケーブルでテレビのヘッドホン端子と送信機を接続します。

1 音声ケーブルで送信機とテレビをつなぐ



音声ケーブルをヘッドホン端子に接続すると、テレビからは音が出なくなります。テレビによっては設定を変更すると、テレビからも同時に音を出せることがあります。詳しくはテレビの取扱説明書でヘッドホンまたはイヤホンの項目をご確認ください。

スピーカーからノイズが出るときは

「困ったときにすること」(13ページ)をご確認ください。

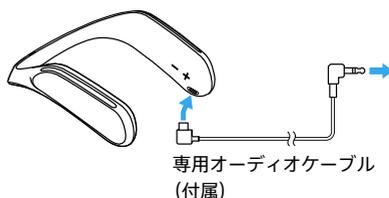
その他の使いかた 続き

専用オーディオケーブルを使って聞く

付属の専用オーディオケーブルを使うと、スピーカーを有線でオーディオ機器とつないで使うことができます。

1 付属の専用オーディオケーブルと聞きたい機器を接続する

オートシャットOFF機能は動きません。
必ず付属の専用オーディオケーブルをご使用ください。



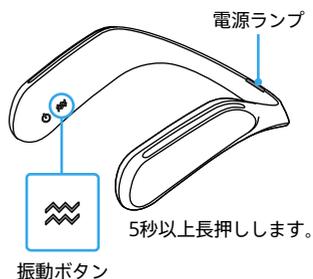
もう1台スピーカーを使う／ペアリング

ひとつの送信機に、2台までスピーカーを使用することができます。新しくスピーカーを使用するときは、はじめにペアリングをしてください。
また再ペアリングする際も以下の手順を行ってください。
送信機以外の機器(Bluetooth対応機器など)とスピーカーをペアリングすることはできません。

1 スピーカーを機器登録(ペアリング)モードにする

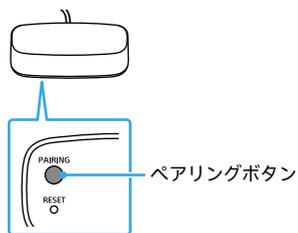
スピーカーの電源を入れて、振動ボタンを電源ランプが黄色に点滅するまで(5秒以上)押し続けます。

ペアリングは送信機の近くで行ってください。



2 送信機の底にあるペアリングボタンを押す

スピーカーの電源ランプが黄色に点滅している間にペアリングボタンを押してください。
ペアリングが完了すると、スピーカーと送信機のランプが、点滅から点灯に変わります。



困ったときは

1 本書で調べる

「困ったときにすること」(下記)で該当する項目を確認します。

2 サポートページで調べる

最新のサポート情報やさらに
詳しい解決方法を確認できます。



URL : <https://www.sony.jp/support/active-speaker/>
型名 : SRS-WS1

3 それでも解決しないときは(裏表紙)

使いかた相談窓口、修理相談窓口へご相談ください。

困ったときにすること

| 症状 | 原因 | 対処方法 |
|----------------------------|-----------------------------------|--|
| 音が出ない (送信機のランプが赤色または消灯) | ケーブルが奥まで差し込まれていない。 接続が正しくない。 | テレビと送信機を接続し直してください(4ページ)。ケーブルは奥までしっかりと差し込んでください。 |
| | テレビの音量が最小になっている。 | テレビの音量を大きくしてください。 |
| 音が出ない (送信機のランプが黄色) | テレビの設定が正しくない(光デジタルケーブルで接続しているとき)。 | テレビのデジタル音声出力の設定がリニアPCMになっているかご確認ください(4ページ)。設定方法はテレビの取扱説明書をご確認ください。 |

困ったときは 続き

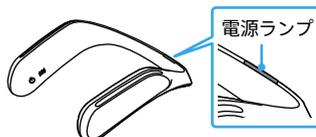
音が出ない
(送信機のランプが黄色)

AVアンプやホームシアターシステムと光デジタルケーブルで接続している。

音声出力の設定がリニアPCMになっているかご確認ください(4ページ)。または、付属の音声ケーブルで接続してください(9ページ)。

スピーカーと送信機のペアリングが切れている。

スピーカーの電源ランプが緑色に点滅しているときは、ペアリングが切れている可能性があります。「もう1台スピーカーを使う／ペアリング」(10ページ)をご確認ください。



電池残量がない。

スピーカーを充電してください(5ページ)。

音が出ない
(送信機のランプが緑色)

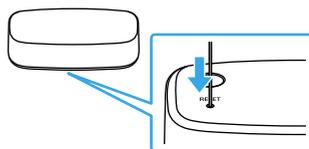
操作を受け付けなくなっている。

スピーカーと送信機をリセットしてください。

スピーカーの電源ボタンと振動ボタンを同時に押します。



送信機の底にあるリセットボタンを先のとがったペンなどで押します。



音が出ない
(送信機のランプが緑色)

スピーカーの音量が最小になっている。

スピーカーの音量を上げてください(7ページ)。

ノイズが出る

テレビのヘッドホン端子の接触が悪い。

テレビのヘッドホン端子に音声ケーブルがしっかりと奥まで差し込まれているかご確認ください。また、音声ケーブルを何度か抜き差しすると接触が良くなることがあります。

音が途切れる

電波が干渉している。

周辺に無線機器や電子レンジなどがある場合はできる限り離れてご使用ください。
スマートフォンやタブレットは、画面が消えていても通信をしているため、近くにあると音が途切れることがあります。

他の無線機器(テレビ、サウンドバーなど)への影響がある場合は、送信機的位置を動かしてください(例えば左に置いて影響がある場合は、右や中央に置いてみる、など)。

送信機のオートシャットOFF機能が働いている。

音声ケーブルで接続しているとき、無音または微音の状態が5分以上続くと、送信機の電源が自動的に切れます。送信機のランプは赤色になります。

テレビから音が出ない

音声ケーブルで送信機とテレビを接続している。

光デジタルケーブルで送信機とテレビを接続してください。

音量が小さい

テレビのヘッドホン音量が小さい。

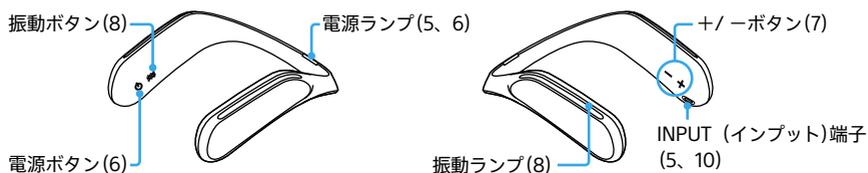
テレビのヘッドホン音量を調節してください。詳しくはテレビの取扱説明書で、ヘッドホン音量の調整方法をご確認ください。

本機について

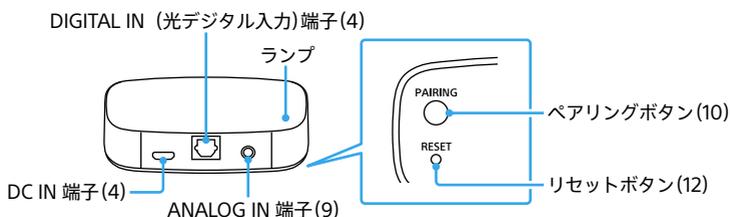
各部の名称

()内の数字は参照ページです。

□ スピーカー



□ 送信機



送信機のランプについて

点灯(緑色) : スピーカーに音声を送信中です。

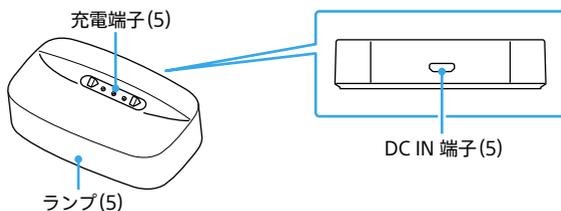
点灯(赤色) : スピーカーに音声を送信していません。

点灯(黄色) : スピーカーに音声を送信していません。

(テレビのデジタル音声出力設定がPCM以外)

消灯 : 電源が入っていません。

□ 充電台



主な仕様

スピーカー

形式

アンプ内蔵スピーカーシステム

実用最大出力

1 W+1 W*

スピーカーユニット

φ30 mm×2 (フルレンジ)

入力端子

ステレオミニジャック (付属のケーブル使用時)

電源

リチウムイオン電池

連続使用時間

約7時間* (JEITA規格による)

充電時間

約3時間*

使用温度範囲

0 °C ~ 40 °C

最大外形寸法

(幅×高さ×奥行)

約210 mm×75 mm×205 mm

質量

約335 g

* 使用状況により異なります。

充電台

電源

DC 5 V (付属のACアダプターを使用)

最大外形寸法

(幅×高さ×奥行)

約76 mm×17 mm×45 mm

質量

約70 g

送信機

変調方式

その他の方式

送信周波数帯

2.4 GHz帯

到達距離

約30 m (直進見通し、スピーカー 1台接続) /

約10 m (直進見通し、スピーカー 2台接続)

入力端子

ステレオミニジャック×1、光デジタル音声入力端子(角型) (fs=48 KHzのPCMに限る) ×1

電源

DC 5 V (付属のACアダプターを使用)

最大外形寸法

(幅×高さ×奥行)

約76 mm×17 mm×45 mm

質量

約30 g

- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

お手入れ方法

汚れが染みこむ前に、乾いた柔らかい布、または水やぬるま湯に浸して固く絞った布で軽くたたくようにして汚れを取りのぞいてください。

汚れの種類によっては取りのぞけない場合もあります。

保証書とアフターサービス

保証書

- 本書には、保証書が印刷されています(裏表紙)。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、またはソニーの相談窓口(下記)にご相談ください。修理をご依頼の際は付属の送信機、充電台、ACアダプターを本体と一緒にお持ちください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではウェアラブルネックスピーカーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

お問い合わせの前に

もう一度下記の項目をチェックしてみてください。

- 「困ったときは」で調べる(11ページ)。
- スピーカーと送信機をリセットしてください(12ページ)。

型名：SRS-WS1

モデル名、シリアルナンバー(製造番号)は、スピーカーの側面とACアダプターの表面に記載されています。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/>

| 使い方相談窓口 | 修理相談窓口 |
|---|---|
| フリーダイヤル …………… 0120-333-020 | フリーダイヤル …………… 0120-222-330 |
| 携帯電話・PHS・一部のIP電話 …………… 050-3754-9577 | 携帯電話・PHS・一部のIP電話 …………… 050-3754-9599 |
| | ※取扱説明書・リモコン等の購入相談は こちらへお問い合わせください。 |

FAX(共通) 0120-333-389



上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつながります。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

保証書

持込修理

| | |
|--------|--------------------|
| 品名 | ウェアラブルネックスピーカー |
| 型名 | SRS-WS1 |
| お買い上げ日 | _____年 ____月 ____日 |

本書は、本書記載内容(下記記載)で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様欄にご記入の上、修理をお申付けください。

| |
|--------|
| ソニー特約店 |
| |

お問合せ先：修理相談窓口

フリーダイヤル：0120-222-330

携帯電話・PHS・一部のIP電話からは、050-3754-9599

ホームページ：<https://www.sony.jp/support/>

ソニーマーケティング株式会社 東京都港区港南1-7-1 〒108-0075

| | | |
|-------|-----------|-------|
| 保証期間 | お買い上げの日から | 1年 |
| お客様住所 | 電話 | - - 様 |
| お名前 | | 様 |

無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品(ハードウェア)が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別(出張修理、持込修理、引取修理)をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書(再発行しませんので、大切に保管してください)の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種別は、(1)お買い上げのお店、(2)お近くのソニーサービスステーション、(3)本書に記載の修理相談窓口の3種類です。

| 種別 | 受付窓口 | 保証書の提示・提出 | 注意事項 |
|----------------|------------------|-----------|------|
| 出張修理 (1)(2)(3) | 出張修理担当者が訪問した際に提示 | ※1 | |
| 持込修理 (1)(2) | 持参した製品の修理依頼の際に提示 | ※2 | |
| 引取修理 (3) | 製品の引取時に指定業者へ提出 | | |

※1 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理となる場合、出張費用(実費)を申し受けます。

※2 (1)(2)へのご依頼が難しい場合は、(3)にご相談ください。

2. お客様のご要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別について出張修理・引取修理を、引取修理の種別について出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。

3. 保証期間後の故障でも次の場合には有料となります。

(1)本書のご提示がない場合(2)本書にお買い上げ日およびソニー特約店の記載がない場合または本書の記載を書き換えた場合(3)保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合(4)使用上の誤り(取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む)による故障・損傷(5)他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷(6)お買い上げ後の移設、輸送、落下などによる故障・損傷(7)火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧などによる故障・損傷(8)業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷(9)消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換

4. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

5. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。

6. 本書に基づく無料修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。

7. 故障によりお買い上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。

8. 記録媒体を搭載または使用する製品の故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。

9. 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ

*本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

*保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。 T02-4

4-699-102-03(1)



* 4 6 9 9 1 0 2 0 3 * (1)

© 2017 Sony Corporation
Printed in China